

小学校視聴覚研究会

1 研究主題

学習効果を高め、基礎・基本の確かな定着を図るためのICT活用の研究

2 主題設定の理由

学習指導要領の総則では、「情報教育」及び「教科指導におけるICT活用」の充実が述べられている。特に「基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学習に取り組む態度を養うためには、児童がコンピュータや情報通信ネットワーク等の情報手段を適切に活用できるようにすることが重要である。また、教師がこれらの情報手段や視聴覚教材、教育機器などの教材・教具を適切に活用することが重要である。」とある。

ICTの活用には、「学習指導の準備と評価のための教師によるICT活用」、「授業での教師によるICT活用」「児童によるICT活用」の3つが挙げられるが、これまでの授業研究において、主に教師が授業のねらいを実現するためのICT機器の効果的な活用を図ってきた。なかでも、ICT機器（とりわけ実物投影機やプロジェクターといった簡易な機器）を使う際に、ICT活用の目的を明確にもち、何をどのように見せるかを工夫することで、学習効果が高まることが成果として明らかになってきた。

そこで、ICTの効果的な活用について、さらに研究を深めていくためにも、教科指導のなかで「基礎基本の定着を図る」ことに重点を置き、追求していくこととした。

3 研究目標

基礎基本の確かな定着を図るため、学習意欲を高めたり、知識や技能を身につけさせたりするICTの効果的な活用を、授業実践を通して明らかにする。

4 研究仮説

学習指導において、発問や指示等にICTの活用を工夫することで、より効果的に学習意欲を高めたり、知識や技能を身につけさせたりすることができる。

5 研究内容

(1) 研究経過

5月 2日（木）郡小中教研総会（五戸中）

5月21日（火）第1回役員研修

7月25日（金）夏季研修会（南部町立福地小学校）

「使ってみませんか？フラッシュ型教材」

講師：石井一二三（八戸市立是川小学校教諭）

9月10日（火）第1回指導案検討会

10月 3日（木）第2回指導案検討会

10月31日（木）教材研究会 兼 第2回役員研修会

11月14日（木）郡小学校教研Ⅱ群研究発表会

【下学年部会】（南部町立福地小学校）

教科・単元名 3年生 算数科 「二等辺三角形をかこう」

授業者 圓子 靖子（福地小学校教諭）

指導・助言者 小泉 孝一（三八教育事務所指導主事）

【上学年部会】（南部町立向小学校）

教科・单元名 6年 保健 「飲酒の害」

授業者 佐藤 幸広（向小学校教諭）

助言者 管 宏（三八教育事務所指導主事）

12月26日（木） 冬季研修会（南部町立福地小学校）

講師：佐藤 正寿（奥州市広瀬小学校副校長）

（2） 郡小学校教育Ⅱ群研究発表会の記録及び助言

【下学年部会】

①本時の目標

- ・辺の長さが指定された二等辺三角形を、コンパスを使って書いている。

②ICTの活用と工夫

- ・導入段階でのフラッシュ型教材の活用（既習内容の振り返り）
- ・実物投影機による説明資料（児童のワークシート）の提示
- ・コンパスの使い方等、作業の仕方の提示（指示の明確化）

③指導助言

【上学年部会】

①本時の目標

- ・飲酒をすると心身に様々が害があり、特に未成年時の飲酒は影響が大きいことを知る。
- ・学習したことを活用し、飲酒の誘いを断る理由を考えている。

②ICTの活用と工夫

- ・飲酒に関する児童アンケート結果のグラフの提示（動機づけ・情報の共有）
- ・アルコール飲料の缶の注意書きの提示（資料の説明・情報の共有）
- ・教科書の写真資料（脳の収縮・肝臓障害）の提示（資料説明・情報の共有）
- ・豚の肝臓の、アルコールテストの実験提示（実験の代行・比較）

③指導助言

- ・ビールの缶の提示など、日常生活に関連させるための手段として、ICT活用が上手に活用されていた。
- ・教材準備などの時間を考えると、実物投影機の活用が現実的であり、単純に実物を全ての児童に提供できることが有効であろう。
- ・実物投影機の提示が使い過ぎかどうか話題になったが、今日のように目的や意図をもって使い分けをしていれば問題ないであろう。

6 研究のまとめ

昨年度に引き続き、今年度も日常的なICT機器の活用の仕方と工夫を中心に研究を行ってきた。研究の継続という点で、中心資料には教科書を、機器は操作が簡便な実物投影機とプロジェクターの活用について授業実践を行い、見せ方の工夫やメリット、デメリットなど今年度も多くの成果を得ることができた。また、夏季及び冬季の講習会では、フラッシュ型教材の作り方や活用の仕方を研修できたこともあり、下学年部会で実践に生かすことができた。今後はフラッシュ型教材の実践も合わせて研究の視野に入れ、ICT活用の有効性を明確にしていきたい。

向小学校 大 川 英 智